

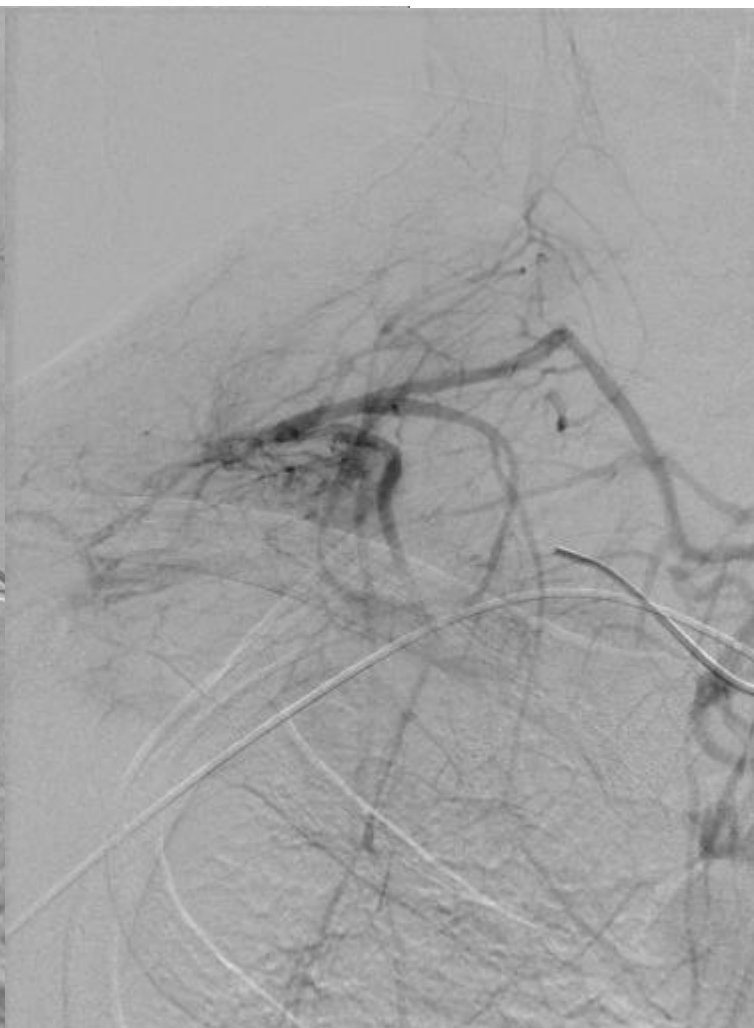


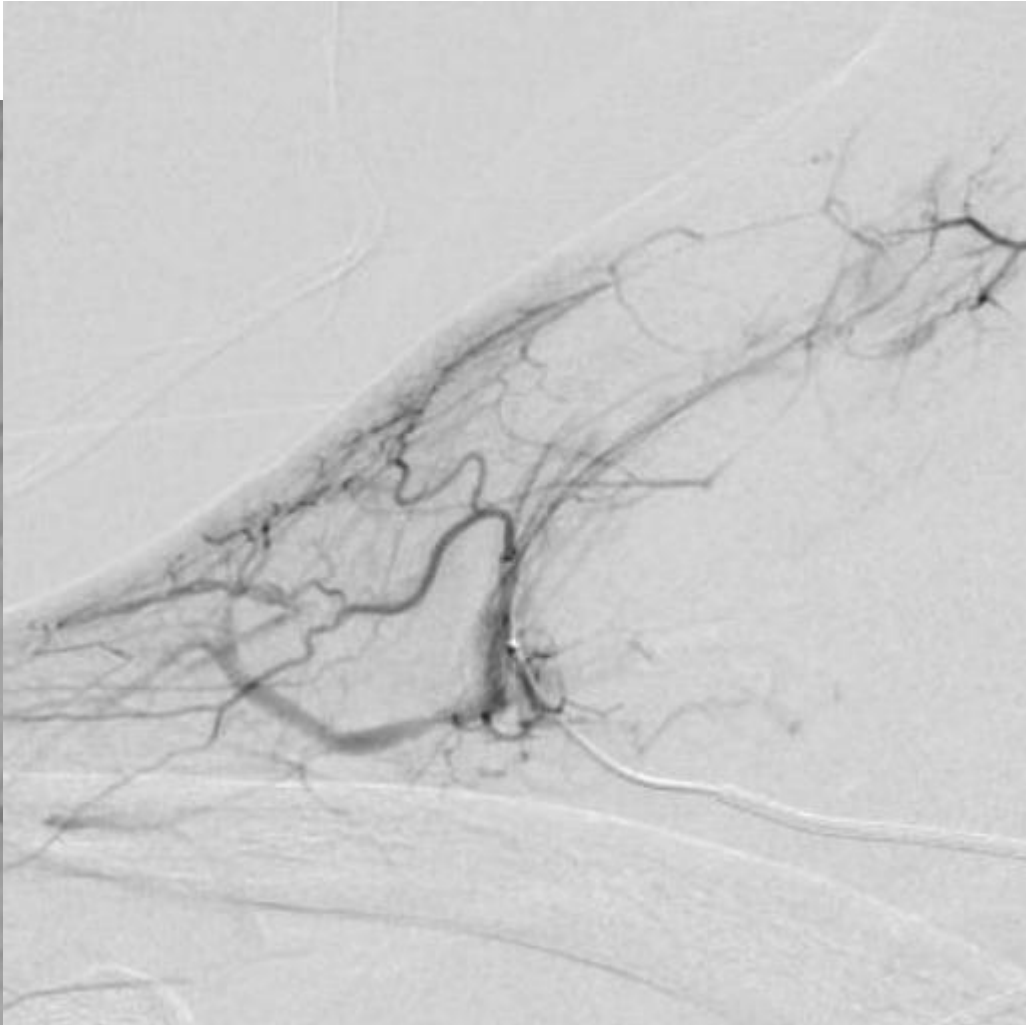
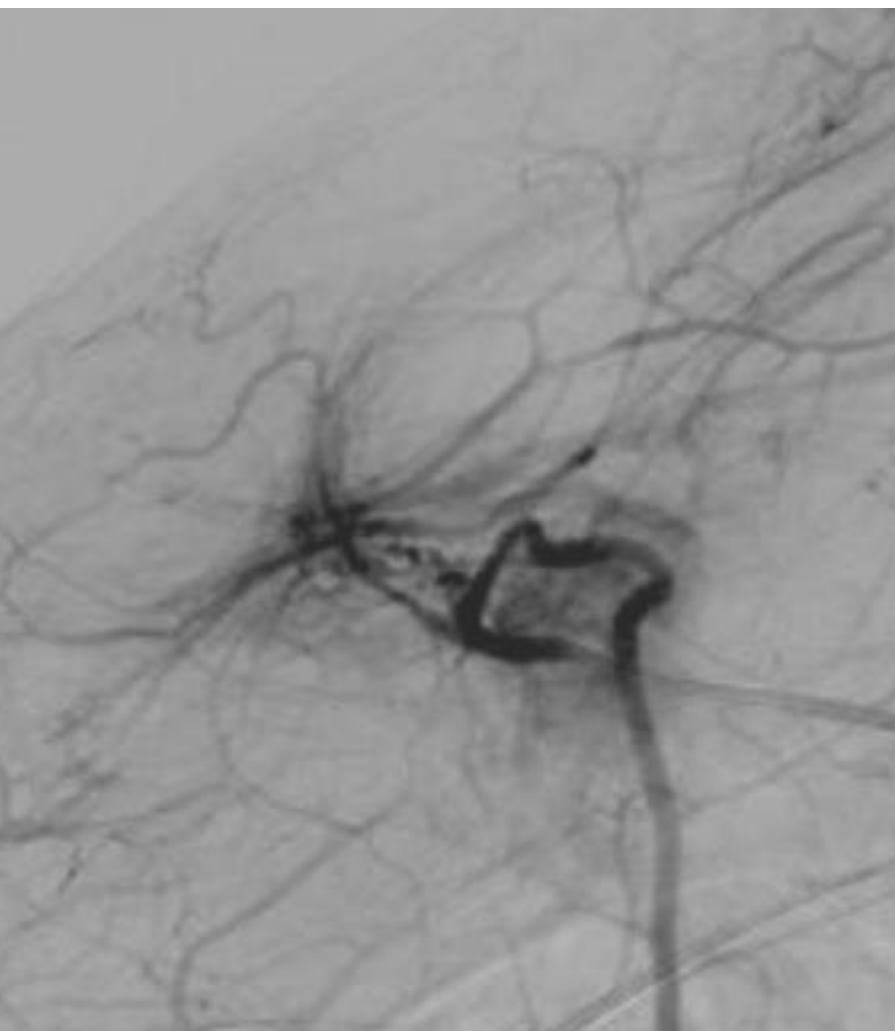
右鎖骨上の腫瘍摘出時出血TAE

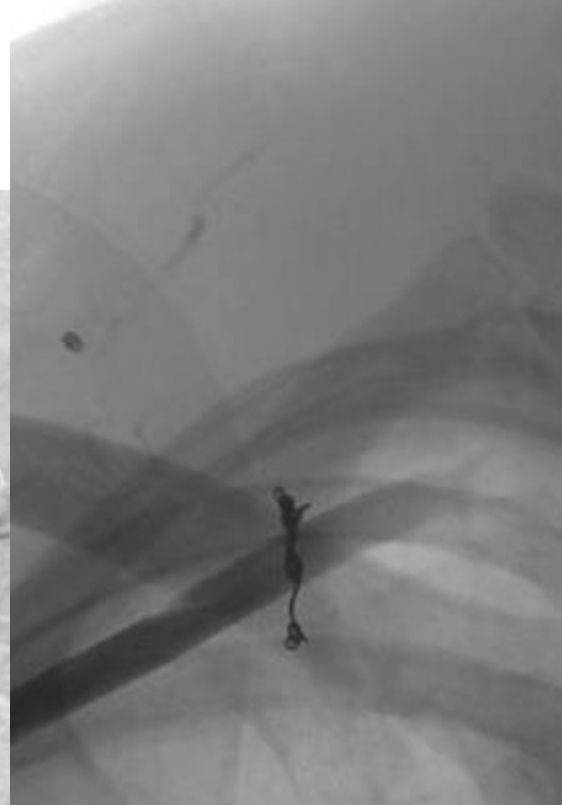
18M

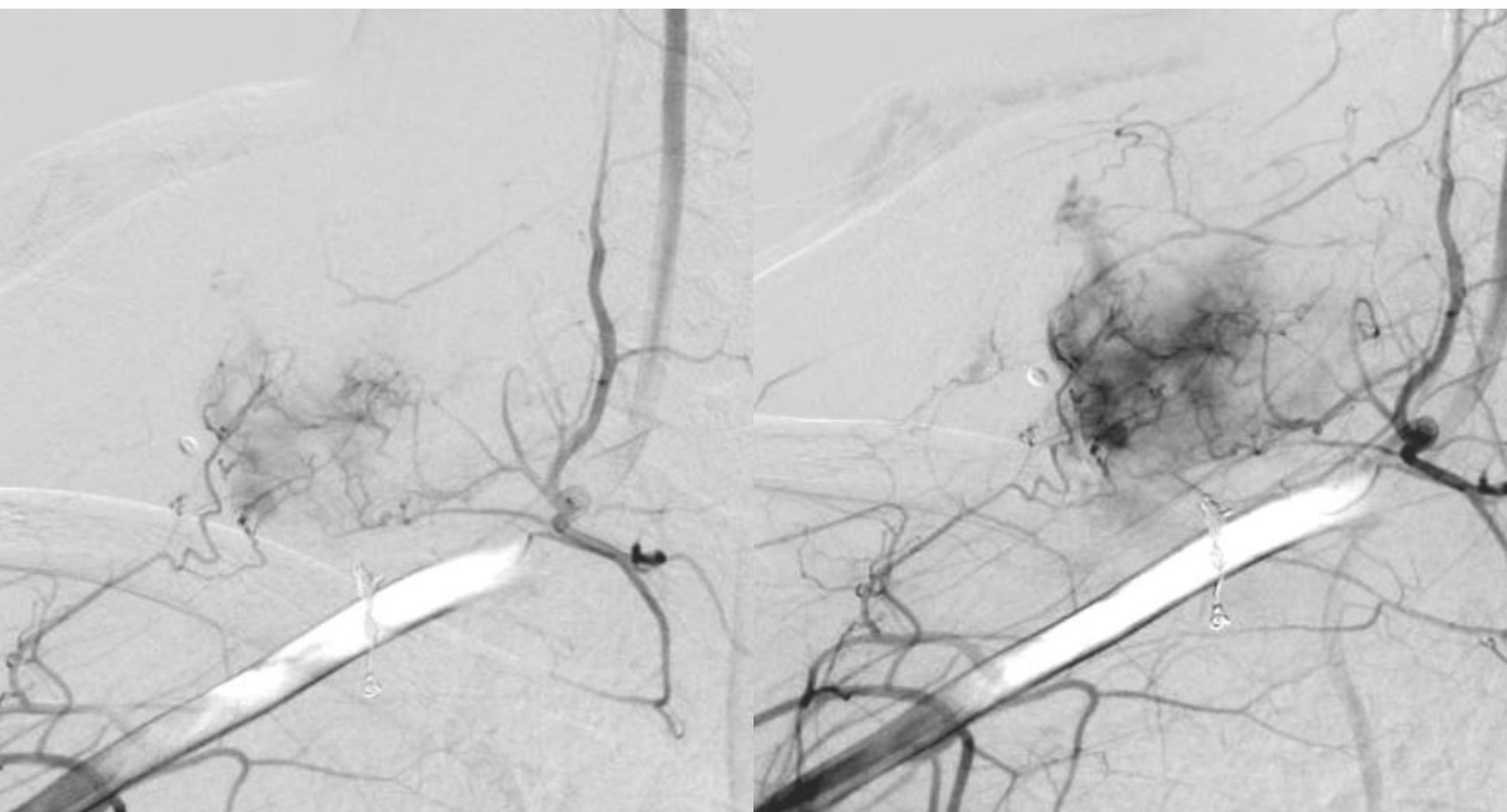
経過

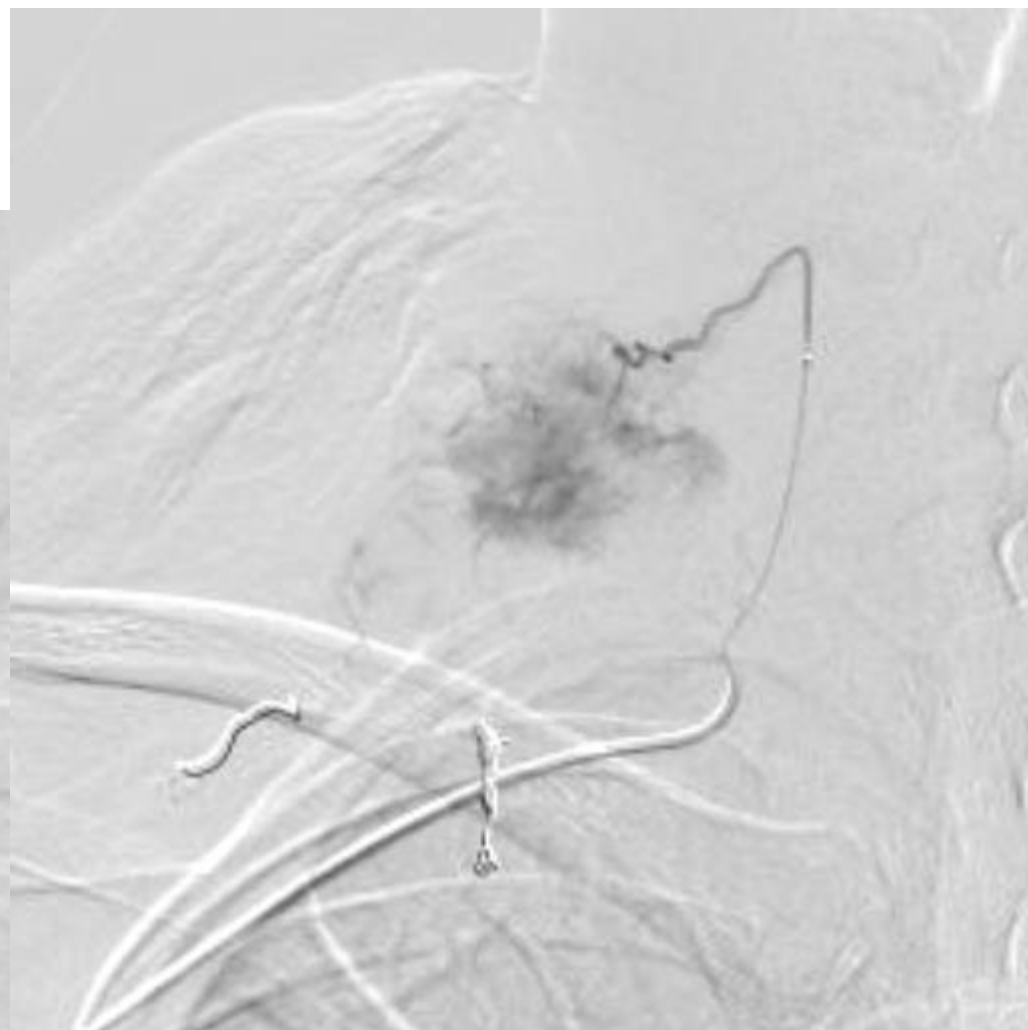
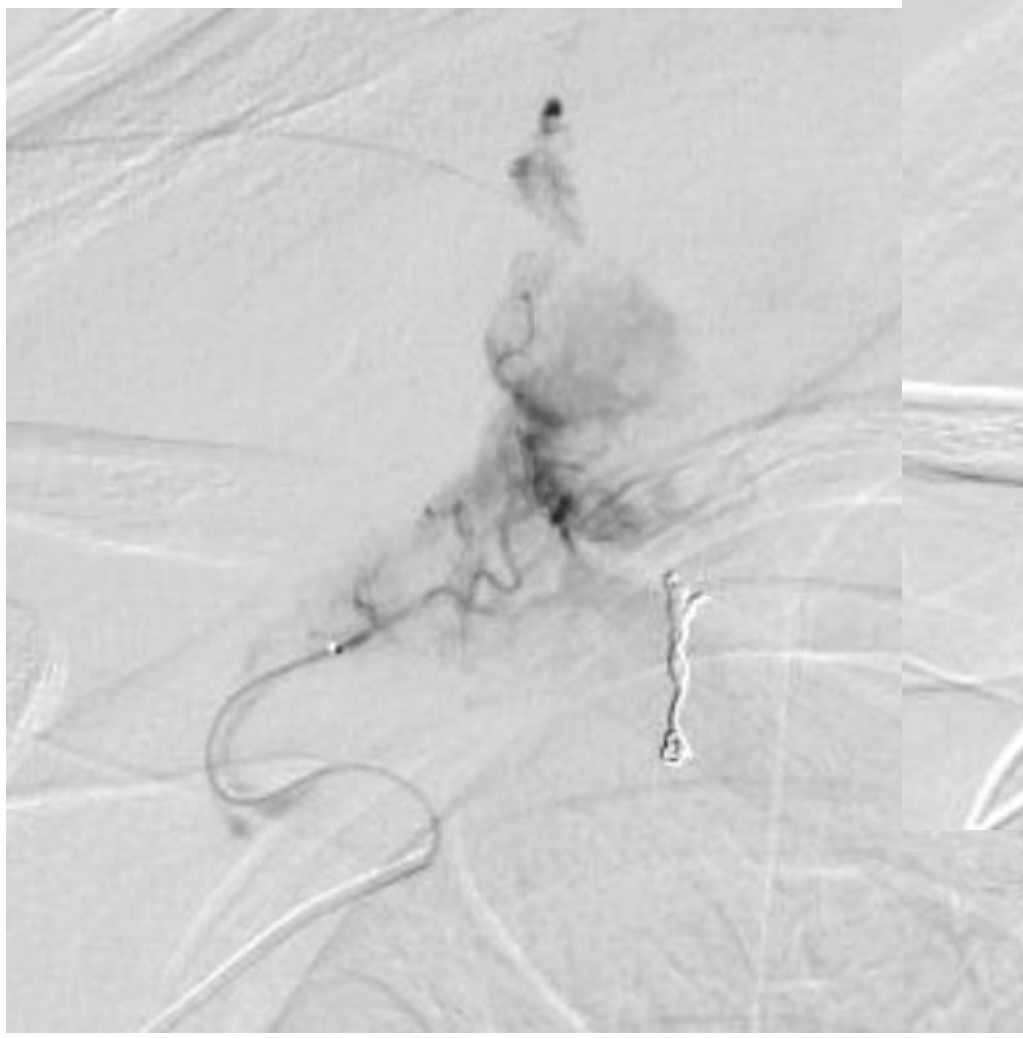
- 周期的な顆粒球減少症にて当院内科通院中の方。
- 2018年8月頃より右鎖骨部腫脹自覚、様子みるも増大傾向あり、CTで化膿性リンパ節炎、結核性リンパ節炎鑑別指摘され、リウマチ科コンサルト。リンパ節生検の方針となり当科コンサルト。今回、リンパ節生検目的に12/21入院。
- 12/21にリンパ節切除生検施行、術中に止血困難で緊急IVR施行した。術後経過良好で12/26に退院となった。











病理結果

- Monophasic fibrous synovial sarcoma, highly suspected
- S-100 (-)
- SMA (-)
- c-Kit (-)
- CD 34 (-)
- CD 56 (++)
- CD 99 (+)
- AE1-AE3 (+/-)
- EMA (+/-)
- bcl-2 (+)